

発 刊 の 辞

早稲田大学における日本語教育ならびに研究の向上発展を目ざして、新たに日本語研究教育センターが設立されたのは昨年4月のことである。それまで本大学の日本語教育は、語学教育の一環として、語学教育研究所の中に置かれた日本語部門が行っていたのであるが、近年の目をみはるばかりの日本語学習人口の増大と学習目的の多様化は、早稲田大学における留学生の日本語教育に対しても、学習者の専門領域や母語の別、既習学力の差などに対応した、より高度できめ細かな教育が要求されるようになった。ここに新しい態勢・組織の確立が必要となり、上記研究所より分離独立して新しいセンターが発足したのである。

もとより教育の理念・方法、教育水準の向上を支える研究体制等は、前身である語学教育研究所時代のそれを引き継いでいるわけであるが、さらに総合大学における日本語研究教育組織が負う学界・教育界における責任と義務を十分にわきまえ、一層の研究教育体制の充実と向上を目ざして努力を惜しまぬ所存である。すぐれた教育は、すぐれた人材と研究の裏づけなくしては有り得ない。その意味で教育は研究に支えられ、研究は人によって支えられていると言ってもよいかと思う。新しい組織の名称を「日本語研究教育センター」としたのもこのような理由によっている。より良き教育を目ざして研究を続け、その成果を教育に反映してその結果を研究にフィードバックする。このような姿勢は極めて重要であろう。ここにそれらの成果を世に問う場として「日本語研究教育センター紀要」を刊行することとした。諸先達の暖かいご指導ご鞭達をお願いする次第である。

1989年1月

早稲田大学日本語研究教育センター

所 長 森 田 良 行